

下表の室は、すべて計画する。

I. 設計条件

この課題は、ある地方都市の中心市街地において、ビジネスの拠点となる駅前
に建つ、「ビジネスホテル」と「フィットネスクラブ」からなる複合施設を計画す
るものである。

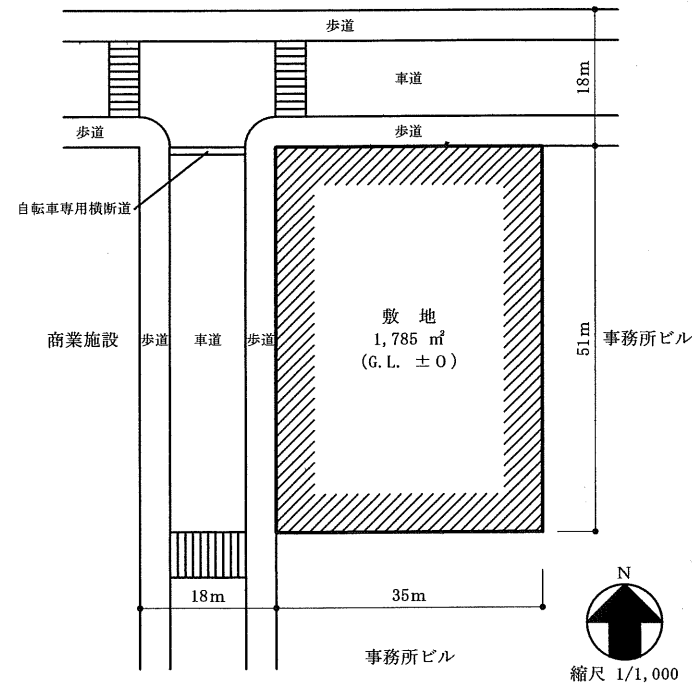
計画に当たっては、特に次のことが求められている。

- ①施設利用者の利便性に配慮した計画とする。
- ②ビジネスホテル部門、フィットネスクラブ部門及びその他の部門の異なる機能を適切にゾーニングした計画とするとともに、各部門の動線に配慮した計画とする。
- ③敷地周辺の環境に配慮した計画するとともに積極的に敷地及び屋上を緑化する計画とする。
- ④建築物全体が、構造耐力上、安全であるように計画する。
- ⑤建築物の環境負荷低減に配慮した計画とする。
- ⑥建設費や、維持管理費などの経済性に配慮した計画とする。

1. 敷地及び周辺条件

- (1)敷地の形状、接道条件、周辺状況等は、下図のとおりである。
 - ①北側一道路（幅員18m）を挟んで駅がある。
 - ②東側一事務所ビル（地上7階建）がある。
 - ③南側一事務所ビル（地上5階建）がある。
 - ④西側一道路（幅員18m）を挟んで商業施設（地上7階建）がある。
- (2)敷地は平坦で、道路及び隣地との高低差はないものとする。また、歩道の切り開きは、1箇所当たり6mまでできるものとする。
- (3)敷地は商業地域及び準防火地域に指定されている。また建ぺい率の限度は90%（特定行政庁が指定した角地における加算を含む。）、容積率の限度は400%である。
- (4)電気、ガス及び上下水道、完備している。
- (5)地盤は良好であり、杭打ちの必要はない。
- (6)地下水についての特別な配慮はしなくてよい。
- (7)気候は温暖で、積雪についての特別な配慮はしなくてよい。

駅



2. 建築物

- (1)地下1階、地上7階建ての1棟の建築物とし、地下1階を除く床面積の合計は、6,000㎡以下とする。
この課題の床面積の算定においては、ピロティ、塔屋、バルコニー、屋外階段等は、床面積に算入しないものとする。
- (2)構造（構造種別は自由とする。）及び設備（空気調和・衛生設備・電気設備・エレベーター）については適切に計画する。

3. その他の施設等

- (1)ポケットパークは、次のとおり計画する。
 - ①地上に設けるものとし、まとまったスペースで50㎡以上とする。
 - ②前面道路を通行する方の憩いの場として提供する。
 - ③植栽を計画し、ベンチ等の屋外ファニチャーを設置する。
- (2)テラスは、次のとおり計画する。
 - ①レストランの屋外に設けるものとし、まとまったスペースで30㎡以上とする。
- (3)太陽光発電パネルスペースは、次のとおり計画する。
 - ①2階の屋上に設けるものとし、まとまったスペースで100㎡以上とする。
 - ②発電量を考慮し、適切な位置に設ける。
- (4)駐車場は、地上に平面駐車とし、車いす使用者用として1台分、サービス用として1台分を設ける。
また、利用者用及び従業員用の駐車場については、近隣の公共駐車場を利用するものとし、考慮しなくてよい。
- (5)駐輪場は、フィットネスクラブ部門利用者用として、20台分（1台あたり0.5m×2m程度）を設ける。
- (6)(1)～(5)の「その他の施設等」は、床面積に算入しないものとする。

部門	室名	床面積	設置階	特記事項	
ビ ジ ネ ス ホ テ ル 部 門	フロント	約 20 ㎡	1 階	・受付カウンターを設ける。	
	事務室	約 30 ㎡	1 階	・フロントに隣接させる。	
	エントランスホール(1)	適宜	1 階	・風除室を設ける。	
	客 室	シングル (計 70 室)	計約 1,050 ㎡	3～7 階	・各階に14室 (約15㎡/1室) 設ける。
		ツイン (計 30 室)	計約 600 ㎡	3～7 階	・各階に6室 (約20㎡/1室) 設ける。
	車いす使用者用 (計 5 室)	計約 150 ㎡	3～7 階	・各階に1室 (約30㎡/1室) 設ける。	
	リネン室	適宜	3～7 階		
	自販機コーナー	適宜	3～7 階		
	ランドリールーム	適宜	3～7 階		
	ラウンジ	適宜	3～7 階		
OAコーナー	適宜	1階又は2階			
・裸足又は上履きで利用する計画とする。					
フ イ ッ ト ネ ス ク ラ ブ 部 門	プール室	約 350 ㎡	1 階	・プールは、長さ20m、幅5m、最深1.2mとする。 ・器具庫を設ける。	
	更衣室	約 200 ㎡	1階又は2階	・男性用、女性用として2室 (約100㎡/1室) を設ける。 ・ロッカー、洗面カウンター、便所、シャワーを設ける。	
	トレーニングルーム	約 180 ㎡	1階又は2階	・体力測定室に直接行き来出来るようにする。 ・器具庫を設ける。	
	ゴルフ練習室	約 130 ㎡	1階又は2階	・器具庫を設ける。 ・ゴルフボールを使用して練習をするため、無窓とする。	
	浴室	約 140 ㎡	1階又は2階	・男性用、女性用として2室 (約70㎡/1室) を設ける。 ・浴槽、水風呂、サウナ、脱衣室、便所を設ける。	
	体力測定室	約 30 ㎡	1階又は2階	・トレーニングルームに隣接させる。	
	休憩ラウンジ	約 70 ㎡	1階又は2階	・マッサージコーナー、自販機を設ける。	
	待合ラウンジ	約 25 ㎡	1階又は2階	・自販機を設ける。	
	エントランスホール(2)	適宜	1 階	・プロショップに直接アプローチ出来る。 ・風除室、下足箱を設ける。	
	スタッフルーム	約 40 ㎡	1 階	・利用者の料金徴収、入退室の管理を行う。 ・受付カウンターを設ける。	
	プロショップ	約 60 ㎡	1 階	・スポーツ用品の販売を行う。 ・外部から直接アプローチ出来る。 ・カウンター、倉庫を設ける。	
	情報コーナー	適宜	1階又は2階		
	そ の 他 部 門	レストラン	約 200 ㎡	1階又は2階	・外部から直接アプローチ出来る。 ・テラスへ直接アプローチ出来る。 ・ビジネスホテル部門から直接アプローチ出来る。 ・厨房、従業員用便所を設ける。 ・便所 (男性用、女性用として2室) を設ける。 ・カウンター、テーブル、いす等を設ける。
電気・機械室		約 170 ㎡	地下1階	・ドライエリアを付設する。 ・プール室の機械室を兼ねる。	

・便所及び倉庫については、適切に設ける。
(注) 上記の床面積の合計 (地下1階及び適宜を除く。) は、約3,275㎡となる。

II. 要求図面等

設計製図答案用紙の定められた枠内 (寸法線は枠外でもよい。) に、黒鉛筆を用いて記入する。

1. 要求図面

下表により、所定の図面を作成し (フリーハンドでもよい。) 必要な事項を記入する。

図面及び縮尺	特記事項
(1) 1階平面図 兼 配置図 1/200	①建築物の主要寸法 (柱割り及び床面積の計算に必要な程度) を記入する。 ②室名等を記入する。 ③建築物の出入口及び断面図の切斯位置を図示する。 ④パイプシャフトの位置を図示し、PSと記入する。ダクトスペースを設ける場合には、その位置を図示し、DSと記入する。 ⑤1階平面図兼配置図には次のものを図示する。 イ. 地下1階部分 (電気・機械室の位置を図示し、床面積を記入する。) ロ. ドライエリアの位置 ハ. 駐車場 (台数及び出入口を明示する。) ニ. 通路・植栽等
(2) 2階平面図 1/200	⑥フロント、事務室、客室 (シングル、ツイン、車いす使用者用)、プール室、更衣室、トレーニングルーム、ゴルフ練習室、体力測定室、休憩ラウンジ、待合ラウンジ、スタッフルーム、プロショップ、レストランの床面積を記入する。
(3) 3階平面図 1/200	⑦客室については、次のものを図示する。 イ. 代表的なシングル1室の室内プラン及びその床面積 ロ. 代表的なツイン1室の室内プラン及びその床面積 ハ. 各客室の出入口、パイプシャフト ニ. シングルの表示 (S1、S2～S14) ホ. ツインの表示 (T1、T2～T6) ⑧直下階の屋根、ひさし等となる部分を図示する。
(4) 断面図 1/200	①切斯位置は、プール室を含み、建築物の全体の立体構成 (地上1～7階) がわかる断面とする。なお、水平方向の省略は行わないものとする。ただし、基準階部分については、鉛直方向のみ省略しても良い。 ②塔屋を除く建築物の高さ、階高、天井高、1階床高、及び主要な室名を記入する。 ③梁及びスラブの断面を図示する。なお地下1階及び基礎については図示しなくてよい。

2. 計画の要点等

次の①～④について、計画の要点等を記述する。なお、要求図面に該当箇所があれば、引き出し線等により補足して明示する。

- ① 建築計画について、特に配慮したこと。
- ② 構造計画について、特に配慮したこと。
- ③ 建築物の環境負荷低減対策について、特に配慮したこと。
- ④ 設備計画について、採用した空調方式とその理由

3. 面積表

地上1～7階の床面積及びその合計を記入する。なお、各階の床面積については、その算定式も記入する。